

(13) 人口減少対策、特に若い世代の都心部への流出を防ぐために必要なこと

問 17 十日町市では、人口減少・少子高齢化が進行しており、特に若い世代の都市部への流出が増えています。対策として市では、U I ターンした人へ支援を行うほか、子育て世代が共に働きやすい職場環境づくりに努める企業を支援しています。人口減少対策、特に若い世代の都心部への流出を防ぐために、どのようなことが必要だと思えますか？（自由記載）

人口減少対策、特に若い世代の都心部への流出を防ぐために必要なことについて、様々なご意見が 295 人の方々より寄せられました。原文のまま、すべて掲載しています。なお、当該設問回答者の性別・年齢別の分布は以下のとおりです。

全体	性別			年齢別							
	男性	女性	無回答	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
295(人)	120	158	17	4	18	36	62	51	78	32	14
(%)	40.7	53.6	5.8	1.4	6.1	12.2	21.0	17.3	26.4	10.8	4.7

意見	属性
賃金格差が少なくなること。子供たちが幅広い教育を受けられることに繋がると思っています。そのことで地域の商業（産業）も充実すると良いです。	女性，55歳～59歳
地元に残りたい、帰りたいと思う魅力ある地域、環境づくり。	女性，45歳～49歳
・保育施設利用家庭への育児支援と同じように、在宅育児世帯への何らかのサポート。 ・支援内容のアピール。特に若者への周知。	女性，40歳～44歳
・市内の高校と地元企業との繋がりを強くして（コラボ商品開発など）将来就職してもらえるようにする。 ・大学誘致、企業誘致。 ・住宅問題…空き家をシェアハウスみたいにする。安く買えるor借りられるようにする。	女性，45歳～49歳
移住者に手厚く、地元には冷たい町。Uターンした農家等に支援しています？跡継ぎにも支援の無い感じがしています。	男性，50歳～54歳
・若い人にとって魅力的な企業、職場を作りアピールする。町の活性化。たとえば除雪作業のオペレーターの技術のすごさ（十日町はハイレベル!!）、それを操縦する人のカッコよさ、除雪のダイナミックさをカッコよくアピールした動画を作り、発信するとか。 ・年配者の“だから今の若者は…”という意識も変えた方がいいと思います。若い人から学べる事は、今の時代はたくさんあります。年齢を超えて楽しくやりがいのある仕事ができる人間関係も大切かと思えます。	女性，60歳～64歳
新しい企業の進出。	女性，70歳～74歳
お金。仕事をしても安すぎじゃない・・・？	女性，60歳～64歳
大企業の会社を十日町に誘致する。	男性，65歳～69歳
魅力的な仕事、勤め先がある地域（収入、やりがい）。	男性，60歳～64歳
・働きやすい職場。 ・雪の不便さの解消。	女性，45歳～49歳
企業の誘致。リゾート地などがあれば良いとは思いますが…。	女性，55歳～59歳

意見	属性
大学や大企業の工場（職場）誘致。	男性，50歳～54歳
十日町市は、夏は暑くて冬は豪雪のため一年を通して住みにくいと感じています。消雪パイプの道路が多くなり、冬場の道幅が狭く大変困っています。大地の芸術祭の予算を三分の一に減らし、除雪費用・雪対策の強化をお願いします。大地の芸術祭の作品は、癒される作品を望みます。特に、情報館の隣の公園にある作品はいつ見ても気持ちが悪く、作品の変更や撤去を願います。	女性，45歳～49歳
働ける所が少ない。交通の便が悪い。	無回答，無回答
若い方のほとんどが地元での働き場がない事。雪の対応が大変で流出していると考え。芸術祭に3年間で数億円を使い、そのリターンがどのくらいあるのか？企業でリターンを見込めないのは廃止ですよ！そのお金を育児・除雪・企業誘致へ切替えるべきと考える。住み継がれる街になる為には、観光に税金を投入してもリターンがないとドブに金を捨てているも同じ。巨額投入＝巨額の税収増ならわかる。北川フラムにカモにされているだけ！新潟市のように離脱してほしい。…市長に意見する人がいないものか…？市役所職員と市議が市長に苦言してほしい。	男性，50歳～54歳
進学先の拡充。	男性，35歳～39歳
若い世代に十日町市で子育てをしてもらうことを望まれると思います。しかし、そもそも生活するうえで大切な職、賃金が全体的に低いので、他で職を探そうという気になり、人が定着しないのではないのでしょうか？また、市の政策として、こんなことがあるから子育てしやすい、というものはあるのでしょうか？大学に進学していた時期を除き、ほぼ十日町で過ごしていますが、よくわかっておりません。市の政策をもっとアピールする場があってもいいのではないかと思います。成人のタイミングで、一斉に封書を送るとか…（結婚したばかりの家庭には、何かしら市からお知らせあるのでしょうか？）。素人考えですみません…。	女性，25歳～29歳
人口中央集中の社会構造の変革。	男性，70歳～74歳
昔は高校卒業→就職。今は大学・専門学校→就職。地元を出ると帰って来たくても働く場がない。先が見えないから、帰って来いとも言えない。働く場が必要。	女性，65歳～69歳
十日町に企業・働く場が増えて暮らしやすくなるのを願っています。	女性，65歳～69歳
十日町に残りたい。働きたい場所がある。を作ることが大切だと思います。学生の子たちが遊べる場所、集まれる場所、ないですね。働きたい企業・店舗ありますか？ほかの市町村、都道府県の方が魅力的です。もっと若い子たちが喜ぶような施設等を考えていただけると、十日町に残ってもいいかなーと思ってくれる子が増えるのではないのでしょうか。	女性，25歳～29歳
都市化。	男性，50歳～54歳
娯楽施設（カラオケ、漫画喫茶、インターネットカフェなど）がないので、若い世代が流出するのではないのでしょうか。	女性，40歳～44歳
市の近くに色々な分野の大学や専門学校があること。	女性，25歳～29歳
働ける企業の誘致。	男性，50歳～54歳

意見	属性
十日町で買い物をしたいと思うお店が少ない。長岡、新潟まで行くなど。雪国、働きたいと思う職場が少ない。都心部並のアパートの家賃の高さ。活気がないように思います。	女性, 50歳～54歳
若い世代が活動を市内で行う際に、制約が多いと思う。市外にその場を求めて、十日町に戻って来ないケースが多いと思う。	男性, 55歳～59歳
子育てがしやすいような経済支援。	女性, 35歳～39歳
ちょっとした対策では人口流出は防げないと思う。地域的な問題（豪雪地帯）もあるので。	男性, 45歳～49歳
若い世代の賃金アップ。	男性, 60歳～64歳
働く職場がほしい。	女性, 70歳～74歳
雇用の充実。	男性, 55歳～59歳
十日町市の魅力度アップ→大地の芸術祭支援。雪に対する古いしきたり考え方を改める（年配者がセッセと雪片付をするのを見ているだけで、若者は住みたくなくなるのではないか）。春になれば消えるのだから、世間体を気にせずに済む社会を望む。精神的なもので市にどうのこの意見する事柄ではないが。	男性, 60歳～64歳
働く場所、賃金の低さ、雪への対策。	男性, 40歳～44歳
若い人が働きたいと思う職種を増やす。賃金を上げる。	女性, 50歳～54歳
魅力的な企業（工場等）の誘致。	女性, 45歳～49歳
仕事場。	男性, 65歳～69歳
仕事の確保。	女性, 65歳～69歳
若い世代が働きたいと思う職業が選択出来る環境づくり。リモートワークで出来る職種の方々への田舎暮らしの勧めと通信設備の整備。	男性, 35歳～39歳
魅力的な職場。住みたくなる様な町作り。子育て世代への優遇。	女性, 70歳～74歳
子供の。	男性, 45歳～49歳
やりたい仕事がないとか住む所がないとか話していますので、仕事（会社）など若い人から見た魅力あるアピールがもっとできたら良いと思います。	女性, 50歳～54歳
働く仕事、職場がもっとあれば良いと思います。	女性, 70歳～74歳
働く場所、企業がある事。早く上越から六日町につながる広域道路が完成して、流入人口が増えれば良いと思います。	男性, 70歳～74歳
働く場の確保→選択できる職種、企業があること。	無回答, 無回答
商業施設の充実。	男性, 35歳～39歳
雇用の充実した企業が多くあるとよい。	女性, 25歳～29歳
魅力のある仕事（職場）があり、給料も都心と同程度あること。ショッピングやレジャー等、楽しめる場があること。	女性, 55歳～59歳
働きたいと思う企業が少ないのでは！	男性, 70歳～74歳
若い世代への支援を充実させる。賃金を上げる、もしくは低賃金でも暮らしていける町にする。子育て世代にやさしい町になれば、若い世代も増えると思います。お金の不安から子供をあきらめる人が多いと思うので、経済面の支援をしてほしい。	女性, 30歳～34歳

意見	属性
子育てを担う親世代に、生まれ育った地方を大切に守って行こうとする気概がなさすぎる。小中学生位の学校教育の場で地域を守る必要を教える必要がある。	男性, 65歳～69歳
子供達若い人が遊べる場所・施設の充実(例スケボー場)。若い人が働きたい企業の誘致。※町全体(市民)が「子は宝」と思う気持ちがあふれている環境。大人の意識の改善! 保育園(幼稚園)の無料化。高速道路、伸びる(十日町インター)。大人が生き生きとしている姿を見せる事。	女性, 60歳～64歳
働く場所(職種)を増やす。多すぎる地域活動を減らす。	女性, 25歳～29歳
企業の少なさ、賃金の安さ、無理ないわ。	男性, 70歳～74歳
中小企業の働きやすさ(給与基準見直し、手当等に関わる資格等の支援、休日取得への理解等)の理解と拡充。職場見学・体験を通して学生への「働く」ことの有意義さの理解。雪国への支援策見直し(除雪への配慮(資金面、労力、維持管理))。	男性, 35歳～39歳
GU、ユニクロ、スターバックスを作る。	女性, 20歳～24歳
全国的に少子化が進んでいる。良い企業が十日町に来るとは考えにくい。	男性, 70歳～74歳
産業(務める仕事場)が選択できる量がなければ、地域で働きたくても難しい為。新産業を作る。	女性, 60歳～64歳
職場が少ない。給料が安い。	男性, 75歳～79歳
働く場所の確保。給料を上げる。商業施設を増やす。中学卒業まで教育費の無償化。アパート家賃が高い。ペットOKのアパートを増やす。	女性, 35歳～39歳
若い世代の就職先、選択が少ない。	男性, 45歳～49歳
職種の多様化。収入の安定。若い世代が出かける場所。	男性, 35歳～39歳
ある程度の都市化(若者が魅力に感じる商業施設、娯楽施設が少ない)。	男性, 20歳～24歳
むずかしいですね。	女性, 60歳～64歳
やりたいと思える職種で安定した収入を得られること。利便性以外の点で魅力とってもらえる点を増やすこと。	男性, 30歳～34歳
働く場所が少ないので、そこを増やさないとだめだと思います。	女性, 65歳～69歳
医療費、学費、税金等での優遇。空き家の提供、住宅建設支援。	女性, 50歳～54歳
十日町市の観光資源等を発信するような、魅力的な施設や企業を増やす。	女性, 35歳～39歳
企業誘致。	女性, 80歳以上
働く場所がない。	女性, 65歳～69歳
安定した収入(賃金上昇)(職種の多様化)。雪国減税(燃料代など)。保育園入園時から無償化。商業施設拡充(ユニクロ etc)。	男性, 25歳～29歳
特になし。	女性, 60歳～64歳
高齢の方々には働く時間を減らしてもらい(65才以上)若い人に仕事ができる職場環境を増やす。高校生にアンケートをとる(十日町市で働く暮らしていくために。仕事についての希望)。	女性, 55歳～59歳
安定した収入を得ることができる企業の誘致、賃金を上げる(この内容は関係ないかもしれないが)。魅力的な仕事がない。あったとしても安い。	女性, 45歳～49歳
若い世代の人が働ける会社・場所があるとよい。	女性, 50歳～54歳
働きやすい職場(休みをとりやすい、定時で退勤)。育児や介護の助成。	女性, 60歳～64歳

意見	属性
働きやすく賃金や人気のあるチェーン店などが、遠くまで行けなくても十日町で買えたりすること（ミスド、ケンタッキーなど前にもあったのにつぶれてしまったこと）。	女性, 60歳～64歳
まず交流人口の活性化→十日町ならではの起業。	男性, 60歳～64歳
職場を多くし給料を高くすれば若い人が集まる。	女性, 80歳以上
低収入の改善。	女性, 55歳～59歳
賃金up、働く場所。	女性, 45歳～49歳
今、市に居る人をもっと大切にすべきだと思います。十日町市に居ても仕方ないと思うから、都市部へ流出するのでしょう。十日町市に住んでいる事が幸せである、という事が重要と思います。	女性, 45歳～49歳
若い人が働く場所が少なく、賃金が低い。	女性, 65歳～69歳
魅力的な企業の創設及び誘致。観光名所等の創造。	男性, 50歳～54歳
十日町市は田舎のため、発展している都会に行ってしまうと思う。都会の方が働く場も多く、給料も高い。生活していくにはお金が必要不可欠。働きやすさも大切だが、給料の見直しも必要になってくるのではないのでしょうか。	女性, 30歳～34歳
年配の方の人口のほうが若い世代より圧倒的に多い分、地域の取り組みや施策もどうしても年配の方の目線のものが多くなっているように感じます。興味のある取り組みをみつけても、平日の昼間開催で都合がつかなかったり、対象がシニアに限られていたり、都市部に住んでいた頃と比べて若い世代の影がうすいです。若い世代向けの夜開催のサークル設置など、若者目線の取り組みがあるといいなと思います。	女性, 20歳～24歳
住居費が高い（給与が高い職業が少ないのだから住居費の高さはこたえます）。子供専用の店の少なさ。子供が利用できる公的施設の少なさ。若年層が好む施設の少なさ。若年層が好む職業の少なさ。	女性, 60歳～64歳
子育て世代の働き場所が少ない。あったとしても給与は安い。フレックスタイム制や在宅で仕事ができるような職場環境なら、まだまだ若い世代が残ってくれる可能性はあるかもしれない。しかし、それを教えてくれる場やスクールなどは少ない。インターネット環境も整ってないと難しいかもしれない。あとIUターンなどで移住した人や移住希望の人々に体験ハウスなど気軽に泊まれる宿泊施設はまだまだ少ないと思う。空き家活用して田舎体験ハウス、雪下ろしツアー、田舎のお母さんの料理教室など地域のコミュニティーに参加するツアーなんかはおもしろいのではないのでしょうか？限界集落に魅力を発見するかもしれないし、他から来た人々に地元の人はどう思うか橋渡しみたいな感じで地域おこし協力隊が活躍しても良いのではないのでしょうか？	女性, 40歳～44歳
アパート等の家賃の値下げ。仕事が少ないので、働く場所を増やす。給与上げ。	女性, 35歳～39歳
ファミレスもカラオケBOXもない。十日町市内には介護の仕事しかない。十日町市内すべてWi-Fiが繋がっているなら最高。	女性, 40歳～44歳
多職化、賃金増、住居安化。	男性, 55歳～59歳

意見	属性
低い賃金や働く場所が少ない。公園なども少ない（環境）。商業施設も少ない。若い人が集う場所もない。	女性, 55歳～59歳
介護の仕事以外の会社が沢山ある事。子供を産む人を増やすには沢山お金が必要なので、手当を増やしてあげる事。	男性, 65歳～69歳
給料が安い。薬局はたくさんあるが、他に買い物や食べる所があまりない。	無回答, 無回答
若者の働く場所の確保。	女性, 70歳～74歳
サテライトオフィスや雪に関わる事業を行う企業誘致。テレワーク可能な人材の誘致と支援。	男性, 45歳～49歳
若い人が働ける場所がないこと。福祉関係もっと条件を良くする。給料を上げるとか。町全体の活気・公園とかを作る。	女性, 60歳～64歳
若い世代が一時的に都市部へ流出することは仕方のないことだと思います。「戻ってきたい」と思えるような町の魅力があるといいです。子育てのしやすい町、高齢者がいきいきと過ごせる町等、都市部にはない特色をアピールして欲しいです。	女性, 40歳～44歳
若者への金銭的配慮。基本給の賃上げ。	男性, 20歳～24歳
豪雪十日町は大変農作物がおいしい為、魅力あると思います。農業（食）に携わる方の収入、支援そして雇用拡大してほしいです。	男性, 40歳～44歳
十日町では若い人が働ける職場が少なく、選ぶことができない。給料は少ないし、やりたい仕事が少ない。もっと企業の誘致などをして、やりがいのある職場を増やして欲しいです。	女性, 60歳～64歳
魅力のある地元企業が少なく、若者が都会へ出て行くのも仕方ない。着物産業にこだわらず、新しい産業へ投資すべき。	男性, 45歳～49歳
子供一人出産するに対し、住民税減税など金銭面でのバックアップがもう少しあってよいと思う。十日町中心地に段十ろう等の箱物だけ建てても、川西・中里・松代・松之山は何の恩恵もないので、その資金を他の事に使えないのかと思う。大地の芸術祭も人気だが「妻有」が十日町と結びつかないでPRにもったいないと思う。	男性, 45歳～49歳
働く職場の充実。	女性, 70歳～74歳
魅力的な職場。	女性, 40歳～44歳
働く職場作り。男女の出会いの場作り。	男性, 70歳～74歳
進路相談等でなんとか十日町管内の企業に目を向けてもらえるよう、職業体験・見学等マッチできるような働きかけ、又、魚沼地域でも地元に残るためならOKでもいいのでは。	男性, 55歳～59歳
メディアなどを通じて全国に徹底的にPR展開し、地域ブランドイメージを高めることによって交流人口を増やし活性化を図る。空き家のリノベーションを推進し、ワーケーション等で定住人口を増やすこと。除雪事業の更なるビジネス化を進め、インセンティブを高め大雪になっても安心して生活できるインフラを構築することも肝要。	男性, 50歳～54歳
十日町市含む近隣の町が活気がないように思います。それに伴い若い世代が都市部に流れ、悪循環になっている気がします。活気づけるには人口が増える必要があると思いますので、企業の誘致と除雪対策が重要になってくるのではないかな～。	男性, 60歳～64歳

意見	属性
都心で働くのは人生で必要だと思う。戻ってきても仕事がないと思っている人が多い。1人暮らしするにも賃金は低いのに家賃は高い。	女性, 45歳~49歳
地域全体の魅力度を上げる。給料を上げる。保育園の無償化。	男性, 20歳~24歳
働く職場が少なく賃金が安い。住居、物価が高いため選択肢がないため、Uターンしても正規になれず非正規雇用となり、又都市部へと出ていかれる。	女性, 65歳~69歳
子育て支援。高速道路（IC）。Uターンした人へ支援を行う・子育て世代が共に働きやすい、この他に市は何をしているのでしょうか？	男性, 30歳~34歳
雇用の安定。	無回答, 35歳~39歳
働く場所（会社等）が少なく外へ行ってしまっているので、外から企業を入れて働く場所を多くする。	女性, 60歳~64歳
まず企業がない。所得が低い。企業誘致できれば良い。働く工場を提示できれば、戻ってくるのでは？	男性, 45歳~49歳
若者が魅力な企業や施設がない。賃金も低い。	女性, 45歳~49歳
大企業の地方への参入。	男性, 50歳~54歳
女性の給料が安い。男性と同じ時間で働いているのに男性の方が給料が高い。男性が会社員である妻の、受付で支払う病院の診療費が3割というのは、すでに差別である。	女性, 50歳~54歳
若い世代が戻って来たくても働く場がない。あったとしても賃金が安い。これでは結婚して家庭を持つのは難しい。企業支援ももちろん大事だが、市役所の職員採用も、新採用者が十数名、再任用者が数十名と、もっと新採用者を増やせないのかと思う。せめて再任用より新採用の方が多くあってほしい。	女性, 55歳~59歳
魅力ある職場（収入等）を作る。	女性, 60歳~64歳
テレビ等で都会は華やかなイメージが強い。もっと地域の良いところとかを、テレビ等、情報化して留めていってほしいです。	女性, 35歳~39歳
・給与水準の低さの問題を考える。・若者が関心のある、商業施設や娯楽施設の誘致。	女性, 50歳~54歳
若い世代や子育て世代への給付金。	男性, 30歳~34歳
働く場が必要だと思います。芸術の学校やクリエイティブな仕事をする会社があったらいい。	女性, 60歳~64歳
Uターンした人や若い人の流出は、働く場所が無く給料や休暇などの条件が合わなく出ていく人が多いと思います。市が工業団地を造成して、市内以外の会社を誘致した方が良くと思います。交通アクセスが悪く、雪も降る為に難しいと思いますが、今は長岡北インターや小出の工業団地には、県外からの会社が多く工場を建設しております。	男性, 40歳~44歳
もっと若い世代の方にとって魅力的な会社（働きやすさ、給与が良いなど）が増えると良いと思います。	無回答, 無回答
十日町市は働く場所が少ない。職が増えれば十日町で働きたい。	女性, 35歳~39歳
賃金が安すぎる。	男性, 55歳~59歳

意見	属性
職場を増やす。企業誘致など。	女性, 55歳～59歳
働く場所があること。	女性, 40歳～44歳
高校卒業後の就業場所、教育施設。	女性, 45歳～49歳
子育て世代へもっと助成金を出してほしい。	無回答, 無回答
流出しないような町づくり。	男性, 45歳～49歳
大手企業に来てもらう。	女性, 55歳～59歳
魅力的な仕事がない為。	女性, 65歳～69歳
とにかく給料が安い。親と同居でなければ暮らせない。親と暮らすとお嫁さんやお婿さんが来ない。今の若い人は自由に暮らしたいがお金が無く、高収入の関東に行き、余暇を楽しく過ごす施設のある所に行きたがる。	女性, 60歳～64歳
若い世代にターンした人への支援でなく、流出しない支援を考えるべき。	男性, 60歳～64歳
娯楽施設（インドア、アウトドア）等、遊び場がない、あったとしても、住民にもっとアピールしたほうがよい。	男性, 45歳～49歳
新規企業の誘致。	女性, 60歳～64歳
人間関係が閉鎖的、文化的な水準が低い等を改善。多様な価値観を受け入れる土壌を作る。町内会が面倒。働く時間を自由に選択できる。外国人の人でも働きやすい環境。英語やIT教育に力を入れる。やりたい仕事がないので、作るのを支援する。雪の処理の費用の援助。	女性, 30歳～34歳
企業誘致！	男性, 60歳～64歳
その人に合った働き場がないのでは。	無回答, 無回答
力のある会社等、十日町に作る。連れてきてほしい。	女性, 60歳～64歳
「若い世代が、都市部に移住することは悪いこと」だとは、一概に言えないと思います。外に出て、地元の良さに気づく人もいると思うからです。コロナの影響もあり、Iターンとはいかないけれど、デュアルライフをする人が増えているので、そのような方たちに、十日町に来てもらえる仕掛けがあればと思います（いない間、家のメンテナンスをするサービスや、テレワークできるスペースなど）。また、早期退職者に帰ってきてもらえるようにすることも、人口減少対策になり得ると思います。	女性, 45歳～49歳
高校を卒業してからの進学先が身近になく、県外へ行き、そのまま就職先も決めてしまう。専門学校や短大などが、もっと地元であればいいなと思う。	女性, 45歳～49歳
要対策。	男性, 80歳以上
若い世代が、もっと楽しめる娯楽を充実させる。働ける環境を整える。子育て支援の充実。	男性, 40歳～44歳
安心した生活ができるための収入を得られるような職場が、十日町市内には少ない。その点を改善してほしい。	男性, 60歳～64歳
全体的な職業の給料を上げる。	女性, 18歳、19歳

意見	属性
戸建て以外の住居がない。あっても高いため選択肢に入らない。遊ぶ場所がない。市外へ行くしかない。UI ターンで来る人は、ごちゃごちゃした都市が嫌で何もない田舎に来る。何もない田舎が嫌で、若い世代は都市へ出ていく。両立は無理だと思う。給与の水準が大きく異なる、業種によっては、倍近い差があるのでは。これは、人口が違うのしょうがないが、同じような仕事なら、たくさんもらいたいと思うのが人かなと思う。親と子の考え方に、大きな差が生じていると思う。いわゆる世代間ギャップのようなものだが、これが実家で同居したくない理由の一つとなっているのではないか？	男性, 35歳～39歳
子育て後の就職できる会社が少ない。賃金が安すぎる。子供服等の、子供のものを購入できる店がない。	女性, 35歳～39歳
地域内循環型社会への移行。地域内の魅力ある資源の再発見と発信。	男性, 60歳～64歳
都心と周り等の給与体系、職場環境を築くこと。自治体から都心への、往復切符の無料支給などサービスを図る。企業群の誘致。	男性, 50歳～54歳
やりたいと思える仕事と、賃金の低さ。	女性, 55歳～59歳
特になし。	女性, 80歳以上
学歴に見合った収入を得られる仕事につけること。子育てできるだけの収入を、出産しても得られること。そんな仕事があることが、大事ではないでしょうか？まず、仕事はあっても、収入が低すぎる。	女性, 40歳～44歳
働ける場、大企業があればよい。	女性, 60歳～64歳
大型ショッピングモールや洋服店、靴など若い世代が買い物できる企業を呼び込む、遊べる場の提供など。	女性, 45歳～49歳
コロナや戦争などで、貿易が難しい時代、農業に力を入れ、都会より若者を受け入れることが大切かな。都会に出たい方は一度は出てよいのか。	男性, 65歳～69歳
もっとそういう制度があることを、アピールしたほうがよい。該当の人（当てはまる人）しか知らないではなく、市民皆知る機会が増えたら、いいなと思う。	女性, 35歳～39歳
コワーキングスペースの拡充などで、リモートでも働きやすい環境づくり。	男性, 65歳～69歳
家を新築する際の、市からの助成金の枠組みをもう少し緩くして、金額をもっと上げる。現在、すべての物価が上がっていて、若い世代の夫婦が、新築住宅になかなか手が出ない。Uターンはもちろん、十日町在住の人々でも、十日町に家を建てるメリットがもっともあれば、人口減少など若い世代の流出が、少しは減ると思う。特に、お金は大事なポイントだと思う。	男性, 30歳～34歳
企業誘致：本気でアプローチ。誘致企業への特別待遇措置。市内移住者への特別待遇（市の所有土地の格安譲渡、住民税、固定資産税の免除等）。出産数に応じたの将来の特別年金制度の創設（両親への支援）。たくさんの子を育てたのであれば、それだけ養育費がかかっています。成人になれば、多くの税金を納めてくれます。	男性, 65歳～69歳
働く場の確保。農業の魅力アップ。	男性, 70歳～74歳
企業誘致を積極的に行い、若者の働きたい会社を誘致する。	男性, 45歳～49歳
医療機関の充実。低賃金の改善。地域文化の魅力の発信。子育て環境の充実。	女性, 45歳～49歳

意見	属性
若い人たちが、働きたいと思える魅力的な企業、職業が、十日町には少ない。車（免許）がなくては、生活が難しい地域等もあり、車がないと、仕事も雇ってもらえないのが現状。	女性, 55歳～59歳
昔からの店が多く、新しい店（チェーン店など）が入らない。買い物など、結局市外などに行くことが多いため、若者向きの町ではない。十日町でいいやとは、なかなか思えない。	女性, 30歳～34歳
結婚、出産した夫婦に補助金など。	男性, 30歳～34歳
冬期間の生活が、充実したものになること。	女性, 75歳～79歳
大学を卒業した者の、就職先が少ない（企業誘致、業務開拓）。降雪による金銭的・肉体的な負担が大きい（負担軽減・支援策の充実）。	男性, 60歳～64歳
日本全体が、都市部に流出することが当たり前なので、市の努力では難しいと思う。特に、雪が多いことは、改善できないことの大きな要因と思う。	女性, 55歳～59歳
乳児、幼児の医療割引。出産費用の割引。	女性, 60歳～64歳
低い平均給与の改善、有効求人倍率の上昇。労基法の厳守。	男性, 45歳～49歳
大手企業がない。	男性, 40歳～44歳
十日町はまだ空き地があるので、都会の工場等を誘致して、多くの人が働けるところを作ってほしい。	無回答, 無回答
十日町市からの雇用を増やす（アルバイト、パート）。ある程度の、賃金がもらえる様な仕事。	男性, 60歳～64歳
魅力ある仕事と、出会いの機会があること。人間関係が、市内だけでなく自然に広がるように、長岡、上越との往来が、より短時間でできるといいと思う。	女性, 65歳～69歳
年寄りしかいない街に、若者は寄りつかない。優秀な人材を、つなぎとめるだけの高収入を支払えない。	女性, 45歳～49歳
・職場の就業スタイル（規則）が古い（旧体系のまま）。・考え方も若い人への押しつけ（古参の先輩圧）への嫌気。・古い習慣を“昔からのきまり”と決めつけるならわし的意識。等の改善。	男性, 45歳～49歳
働く場所がない限り、戻ることはないと思います（生活できる資金を得れないので）。	男性, 40歳～44歳
働ける場所、若者に人気の有る職種。	無回答, 無回答
十日町市ウクライナ村を作る。	男性, 70歳～74歳
大企業の研究開発施設（拠点）の誘致。	男性, 40歳～44歳
高卒、大卒でも、仕事ができる環境作りが必要。	無回答, 無回答
子供が小さいうちから、地元の企業や親の仕事の見学する機会を、どんどん増やすこと。家族の繋がりを大事に出来る。その時間を親が持てるよう（子育て世代の人は、自分の職場が子育て中という事を理解され、家族サービスを作ってあげるよう努めてほしい）→そうすれば、継続して働き、子供にとっても思い出となり、やがて地元に残りたいと思いつながると思う。親が働いている職場はやりがいのある場所・・・そんなイメージは保育園児でも実感できると思う。	女性, 35歳～39歳

意見	属性
人口減少対策としては、出産した世帯にお祝い金を出す。佐渡がやっていたのでは？未満児の保育料の無償化。若い世代は、一度都会に出てからのほうが、十日町の良さを改めて実感すると思う。なので、UIターンに重きを置いたほうが良いと思う。それには、働きたいと思える職場や仕事が、十日町市になくてはならない。	女性, 35歳～39歳
十日町には、工場（大手）がないので、働くとなると、市外などに出なくてはならない。アパートなどの家賃が、高すぎる。	男性, 40歳～44歳
学費、医療費、無料化。	女性, 50歳～54歳
仕事がないとだめ。	女性, 70歳～74歳
働く場所の確保。	男性, 35歳～39歳
働きやすい職場環境というよりも、十日町に魅力が無いと思う（店等が少ない、レジャーも）。	男性, 45歳～49歳
職場環境の改善や、子育てに必要な給付金を充実させる。	男性, 45歳～49歳
働く場所が少ない。	女性, 65歳～69歳
都会のまねをせず、昔ながらの十日町らしさ（近代的ではないが、自然が多く、近所付き合いもあり、ホッと安心できる地）をそのまま残していける努力。今は、都会に行った人も、いずれ、安心安全を求めて帰ってくると思う。その時に十日町が都会っぽくなってたら、帰ってくる意味がなくなる。田舎らしさを残す努力が大切と思う。	女性, 40歳～44歳
十日町市に企業を誘致して、働ける場所を作る！！	女性, 65歳～69歳
企業誘致が必要と考える。	男性, 55歳～59歳
70才、毎日のんびり過ごしています。若い世代の意見を聞いてください。	女性, 65歳～69歳
地元の職場作り。	女性, 65歳～69歳
UIターンした人に対して、メリットが多く必要。デメリットよりメリットが多いと、が判断されればいいかと・・・。メリットex) 働き口、給料、住居環境、市の活性化。	女性, 45歳～49歳
地域行事等、若者だからという理由で出席、参加を強要しない。しきたりを強要しない。	男性, 30歳～34歳
魅力的な仕事。	女性, 35歳～39歳
企業の誘致。	女性, 65歳～69歳
仕事、職場の情報のPR紹介。	女性, 60歳～64歳
難しい問題ですね。	男性, 70歳～74歳
地域に小学校、中学校を残す。子育てしやすい環境がなければ、移住してしまう。小規模校でも、いいところはたくさんある。	男性, 50歳～54歳
仕事。遊び。地域活動、庁内役員、農業役員などのしがらみ。一度受かると、かわりがいない。	男性, 55歳～59歳
若い世代が、安定した生活ができるようになる企業が必要。	女性, 55歳～59歳
子育て、教育、生活環境が充実している市だという事をアピールする。10年後の子供達の姿を、想像しやすいビジョン作成。	無回答, 無回答
賃金も安く、良い会社も無く、経営者だけが優遇されている。	男性, 70歳～74歳

意見	属性
企業誘致をして、地元就職できる環境づくり、大学、短大等の設置。	男性, 60歳~64歳
働き場所の開拓、拡充、充実。	女性, 70歳~74歳
Uターン支援があると、知らない人がたくさんいると思うので、もう少し広がるように（目に付きやすい）金額など、リアルにポスターにもうちだす。	女性, 25歳~29歳
今の学生が働きたいと、魅力を感じる企業が市内に少ないので、皆が他に行ってしまうのが現状。大きな企業としては、高速道路のインターが無いという点で、計画の段階から十日町は候補から外れてしまう。道路の建設を急ぐべき。	男性, 55歳~59歳
働ける企業が無い。	無回答, 無回答
・賃金を上げる。・高校でのアピール（十日町の良いところなどを・・・）。	女性, 60歳~64歳
看護専門学校ができたが、その他の高校以降の高等教育機関がないのが、一番大きい原因だと考えます。高卒で就職でもよいが、その就職口の少なさ、賃金の安さが若者には魅力が無いと考えられる。勉学を望むなら、十日町からは離れる事となる。1度離れたら都会の便利、賃金の高さ、冬の雪の不便さ等で、Uターンは難しくなると考えます。親の面倒や、都会に疲れたメンタルの不調等で戻ってきたとしても、若い時のUターンなら、まだ仕事もさがせるが、年齢が高くなると企業も少なくなるので、結果Uターンできず、人口減少につながっていると思います。少子化ですので、企業が人材を確保する為に、専門学校を設立、経営などで、卒業したら即戦力で働けるように、市がサポートするとか雪に特化した仕事や農業等で、あきらかに裕福になれる仕事があれば、Iターンも望めると思うのですがね・・・。	女性, 45歳~49歳
交通などの利便、車社会の中、若者が車を持ってない人等も増えて来ると思います。生活の苦しさが増すような気がします。	女性, 75歳~79歳
若い方が雇用される？会社が少ない。若い方が選ぶ仕事が少ない。	無回答, 45歳~49歳
雪が降る量を少なくする為に山を平にして、住宅や産業に活かす。	男性, 65歳~69歳
子供達が、都会に出てみたいという気持ちは、なかなか止めることはできないと思います。こちらにはない魅力的なものが、ありすぎると・・・逆に結婚し、こちらに帰ってきて、子育てをするにあたって、保育施設の充実、医療費無料などに、特化してもらいたいです。	女性, 45歳~49歳
企業誘致。	女性, 55歳~59歳
あそびに行く場所がない。車がないと、どこにもいけない。	女性, 30歳~34歳
働く場！！冬場、共働きだと冬の片づけ、仕事から帰ってから冬がきつい、側溝の整備、流れる時間を。	女性, 55歳~59歳
十日町市内での働き口が少ない。若い世代でも、えらんで働ける会社があれば良いと思う。	女性, 50歳~54歳
地域を生かした魅力発信。	女性, 18歳, 19歳
企業、学校関係の誘致。	無回答, 無回答
充実した買い物ができる場所がない。アパートが、全体的に古いので建て直す。大型のショッピングモールが近くにあると便利。	女性, 25歳~29歳
働ける場所、労働条件等を整える。	男性, 60歳~64歳

意見	属性
市は、なにもしていない様だ。	男性, 70歳~74歳
職場の数を多くすることが、一番だと思いますが、外国との交流を深めたり、他とかわったことをする。	女性, 50歳~54歳
男女共、働ける会社(場所)を作ってほしい。20~40才の若い男女が出会える場を提供してほしい。	男性, 70歳~74歳
年寄り、年長者の意見が強い(大事だと思うが)。他の市町村に比べ、十日町・津南の賃金が低い。	男性, 25歳~29歳
働く場所。	女性, 65歳~69歳
働く場所の提供。	男性, 50歳~54歳
室内での親子が楽しめる場所がない。若い人達が遊べる場所もない。もっと遊べる施設があるといいと思う。	女性, 45歳~49歳
働く場所の確保。	男性, 60歳~64歳
雪国の宿命的雪の中の半年生活、近年の異常気象という災害の為、都市部流出、第一流出防止若者人気の職種多き企業誘致。	女性, 65歳~69歳
給与、賞与の増額(一般企業)。	男性, 35歳~39歳
雇用の充実。	女性, 80歳以上
住居環境の確保。	男性, 55歳~59歳
・給与を高める(地域との格差があれば若者はそれに気付く)。・他域との給与格差を縮める地域通貨導入、市民全員への配布。若年層への分配強化。	男性, 45歳~49歳
・働く所。・雪対策。・町中に公園、憩いの場所。	女性, 70歳~74歳
企業の誘致、魅力のある娯楽。	男性, 60歳~64歳
市内で、若い人が働く場所の拡大。	男性, 65歳~69歳
幼稚園、保育料の無料。小・中学校の医療費無料。企業誘致。織物の町では、魅力がない。	男性, 70歳~74歳
若い世代が楽しめる娯楽施設を増やす。	女性, 25歳~29歳
企業誘致をして、働く場所がある事。映画館や若い世代が身に付ける洋服を販売する店など、余暇を楽しめる場所が必要だと思います。	女性, 60歳~64歳
若い人たちが選択出来る職場をふやす事。	男性, 55歳~59歳
働きやすい環境、職場の増加、充実。	男性, 20歳~24歳
住宅(空家)などの提供。	男性, 60歳~64歳
若い世代の流行を取り入れる。	男性, 18歳、19歳
Uターン者に対する「よそ者」扱いをなくす。	男性, 60歳~64歳
昔からの考えの職場の雰囲気だと、子育て世代に本当に理解力がないのと、地域特有の最低賃金が低すぎて、生活に困るのだと思います。あとは、年を取って、雪の片付けが大変過ぎる等考えると、都会に行ってしまうような気はします。	女性, 40歳~44歳
特になし。	女性, 65歳~69歳
企業誘致で、就職先の選択を増やす。賃金UP。	男性, 40歳~44歳

意見	属性
所得の底上げ（車は必須、雪対策が必要、アパートは高い。なのに、所得は全国平均より低い新潟県の平均よりまた低い。仕事があって住みやすい都市部へ行くのは必然）。	男性, 30歳～34歳
地域の企業の活性化、賃上げ。働き、子育てしやすい対策。	女性, 40歳～44歳
賃金が高い職場を誘致する。安いアパートを用意する。	男性, 55歳～59歳
企業誘致。	女性, 65歳～69歳
独身の働く現役世代に対する税金の負担が重い。企業を支援しているのに、給料が増えている実感がない。給料も安い上に負担も大きいので、結婚、出産を躊躇する人が多い。だから、より経済的、生活環境的に充実した都市部へ行ってしまおう。子育て世代、高齢者への支援も大切だが、結婚、出産できない状況も見直すべき。全体のバランスが重要。	男性, 30歳～34歳
働く企業の職種が少なく、賃金が安い。小千谷、柏崎、長岡へ通える道路を良くしてほしい。	女性, 65歳～69歳
働く場。	男性, 60歳～64歳
男女共に、自分の望む企業が少ないと思います。企業も、若い世代が求める職場づくりに、関心を持っていただきたい。若い女性が少ないですね。市全体が地味ですね。	女性, 65歳～69歳
◎人口減少対策、若い世代の都市部への流出防止に必要なものは、人口減少は死亡者と出生者の割合に、転入と転出の割合がプラスされます。若者の流出は上級学校への進学が理由と考えられます。しかしながら、本来は一時的に流出した人口も、地元へ何割かは戻るものが普通であります。戻らない要因は、同じことを皆さんが考えているはず。地元に残りやすい企業がない、あっても少ない、また地元自体に魅力がない、何もない。多分、高校卒業する生徒さんにアンケートを取れば、結果はこのようになるはず。 「何もないことが最大の魅力」 と言う人もいるかもしれませんが、若者は理解しません。若い世代の面白い、楽しいことや、やりたい、やってみたいことを、市全体が理解しようとしなければ、根本の解決はできないと思います。できることなら、小学校・中学校・高校の授業の中で、地域創生・再生に必要なことを、それぞれのレベルで考えてもらい、県・市へ提言してもらおう。県・市も真剣に提言への対応を考え、実践して行ってほしい。その場しのぎの企業誘致や、何かとタイアップ企画は、未来への不良債権を残すことになります。若い世代が居着く地域づくりは、人口も増加するはず。可能性を信じたい。	男性, 60歳～64歳
時給が低いのに、物価が高いと思います。	女性, 65歳～69歳
地方創生。	無回答, 60歳～64歳
家を持つことに対する、大いなる支援。	女性, 45歳～49歳
コロナ禍でUターン、Iターン人口が増えている。そういう人が住むために、魅力のある職場、子育てが充実することを望みます。	女性, 50歳～54歳

意見	属性
何十年も前から分かっていたことなので、行政、企業が反省し、個人のことばかり考えないで、全体を見通して行動してほしい。	男性, 65歳～69歳
雪国のため、費用が掛かる。車を持っていないと不便。アパートが高い。灯油、ガソリン、アパートなど助成金を出すなど。	女性, 18歳、19歳
魅力ある町、働く場所、働きたい会社がある、学びたいものがある場所。	女性, 55歳～59歳
他市町村と比較した際の、圧倒的な子育て支援。	男性, 30歳～34歳
十日町で、安心して生活ができる企業が必要だ。	男性, 65歳～69歳
学校の種類を増やす(大学・専門学校)。就職先の充実。田舎特有の男女の隔たりをなくす(女性は子供を産み育てるという考え方)。移住者への移住促進。	女性, 35歳～39歳
働く場所、企業がない。企業の誘致。起業支援。十日町市の土地が高い。同じ金額なら他市に行く。アパート代も高い。住宅支援。土地の整備。	男性, 55歳～59歳
働きたいと思う職場が少ない。	女性, 40歳～44歳
企業誘致など、先進的な企業を誘致したらどうか。	男性, 65歳～69歳
結婚できる環境づくり、出会いの場、何が何でも若い人たちを引き留めることができるのか、UIターンで補助金などできるのか。	男性, 60歳～64歳
十日町は働くところが少なく、物価が高く、住みにくいといわれます。	女性, 70歳～74歳
安定した仕事。必ず入れる保育施設。一人暮らし用アパート、ファミリー用アパートが少なく高いのが問題。地域団体への強制参加を辞める。	女性, 40歳～44歳
住人が生き生きと働いたり、楽しく暮らせているところを、子供や若い世代が見て、感じられれば戻ってくるのでは?もともと住んでいる人たちがいいなと思えなければ、若い人たちを呼び込んでも、また流出すると思います。	女性, 40歳～44歳
十日町市で生活できる給与を頂ける仕事に、取り組むことができること。十日町市で、やりがいのある仕事に就き、安定した生活ができること。	女性, 65歳～69歳
なし。	女性, 20歳～24歳
道路と職業を、少しでも多くすること。	男性, 70歳～74歳
十日町市は、家賃が高いと思う。若い世代に残ってほしいなら、そのあたりも考えるべき。	女性, 40歳～44歳
選択肢のある仕事環境。働く場所が少なすぎる。	女性, 50歳～54歳
進学を考えると、都市部へ流出するのは仕方ないと思う。むしろ、他地域から転入する人が増えるほうを、考えたほうがよいと思う。子育て世代への在宅や育児支援、税金の見直しなど、全国から十日町で子育てしたいと思われるような地域を目指してもらいたい。また、若い世代が起業しやすい環境を構築してもらいたい。支援策をSNSなど上手に使うてアピールし、新しい十日町ブランドの産業として、人が集まるよう頑張ってもらいたい。若い世代を流出させず、かつ集めるためには「いかにも田舎らしい」考えではなく、「田舎でも最先端」の考えが望ましいと考えます。	男性, 40歳～44歳
十日町の魅力の発信。冬期の経済的な支援。	女性, 65歳～69歳
給料が若い世代の人たちに、もっとたくさん支給されることが、一番かと思います。	無回答, 無回答
子育て政策の充実。	女性, 25歳～29歳

意見	属性
若い人の目線で、何が必要かを考えて若い人たちに参加してもらいながら、街づくりをすること。	無回答, 無回答
地元で働きたくても、条件や希望に合う仕事がないから、出ていくのだと思います。子育て世代が、残業、休日出勤等なく、特別な技術や経験を必要としない大手企業の大量募集等あれば、とりあえずそこで働くのでは？コールセンターや事務など、バイト感覚でできる内容のもの。	女性, 30歳~34歳